

ふりがな				性別		生年月日		
氏名								
住所	郵便番号				出生都道府県		発病時在住都道府県	
	電話 ( )							
入院年月日	年	月	日	保険種別				
急性膵炎の症状発現日	年	月	日	他院よりの転送	1.あり 2.なし			
重症膵炎基準を満たした日	年	月	日	他院での膵炎治療日数	_____日			
重症急性膵炎として診断基準を満たした時点での重症度スコア	点							
身体障害者手帳	1.あり(等級____級) 2.なし		介護認定	1.要介護(要介護度____) 2.要支援 3.なし				
生活状況	社会活動(1.就労 2.就学 3.家事労働 4.在宅療養 5.入院 6.入所 7.その他(____))						初回臨床調査個人票提出	
	日常生活(1.正常 2.やや不自由であるが独力で可能 3.制限があり部分介助 4.全面介助)						年 月	
受診状況(最近1年)	1.主に入院 2.入院と通院半々 3.主に通院(____/月) 4.往診あり 5.入院なし 6.その他(____)							
成 因	1. アルコール 2. 胆石 3. 内視鏡的乳頭操作後 (1. 診断的 ERCP 2. EST 3. EPBD 4. その他(____)) 4. 脂質異常症 5. 腹部外傷 6. 手術(手術名:____) 7. 薬剤性(薬剤名:____) 8. 膵胆管合流異常 9. 膵管癒合不全 10. 自己免疫疾患(疾患名:____) 11. 慢性膵炎急性増悪 12. その他(疾患名:____) 13. 特発性(原因不明)							
更新理由、治療経過、現在の問題点(社会復帰ができない理由)(前回申請からの変化を中心に具体的に記述)								
重症急性膵炎については、その病態に鑑み医療受給者証の有効期間は原則として6か月である。 更新が可能なものは以下の状態である。								
重症急性膵炎が原因で発症した後遺症(膵および膵周囲膿瘍、瘻孔(膵液瘻、腸瘻))の治療が継続している場合 ただし、急性膵炎治癒後の経過観察や後遺的变化としての膵内外分泌障害に対する補充療法は対象外である。								
更新に必要な上記条件に該当する具体的な合併症の状態、治療経過を詳細に記すこと。 ※本欄に記載がなければ更新は認められない								
後遺症(重症急性膵炎後の後遺症について該当する項目に○をつけ、発症年月日を記載すること)								
1. 膵膿瘍	1. なし	2. あり	年	月	日			
2. 膵周囲膿瘍	1. なし	2. あり	年	月	日			
3. 膵液瘻	1. なし	2. あり	年	月	日			
4. 腸瘻	1. なし	2. あり	年	月	日			
5. その他(____)	1. なし	2. あり	年	月	日			

## (2. 更新)

予後因子			基準値内へ改善した年月日	
重症度判定基準を満たした時点（ ____年__月__日）のデータを記入し、重症度判定基準を満たした項目の数字に○をつけて下さい。				
1. Base Excess $\leq -3\text{mEq/l}$	Base Excess	_____ mEq/l	年	月 日
2. ショック（収縮期血圧 80mmHg 以下）	収縮期血圧	_____ mmHg	年	月 日
3. $\text{PaO}_2 \leq 60\text{mmHg}$ (room air)	$\text{PaO}_2$	_____ mmHg	年	月 日
4. 呼吸不全（人工呼吸器管理を必要とする）	人工呼吸器管理	要・不要	年	月 日
5. $\text{BUN} \geq 40\text{mg/dl}$	BUN	_____ mg/dl	年	月 日
6. $\text{Cr} \geq 2\text{mg/dl}$	Cr	_____ mg/dl	年	月 日
7. 乏尿（輸液後も一日尿量 400ml 以下）	一日尿量	_____ ml	年	月 日
8. LDH が基準値上限の 2 倍以上	LDH(単位を含め記入) ※LDH 基準値上限	_____	年	月 日
9. 血小板数 $\leq 10 \text{ 万/mm}^3$	血小板数	_____ 万/mm <sup>3</sup>	年	月 日
10. 総 Ca $\leq 7.5\text{mg/dl}$	総 Ca 値	_____ mg/dl	年	月 日
11. $\text{CRP} \geq 15\text{mg/dl}$	CRP	_____ mg/dl	年	月 日
12. SIRS 診断基準の陽性項目数 3 以上 (1) 体温 $> 38 \text{ }^\circ\text{C}$ または $< 36 \text{ }^\circ\text{C}$ (2) 脈拍 $> 90$ 回/分 (3) 呼吸数 $> 20$ 回/分または $\text{PaCO}_2 < 32 \text{ mmHg}$ (4) 白血球数 $> 12,000/\text{mm}^3$ もしくは $< 4,000/\text{mm}^3$ または 10%超の幼若球の出現	(陽性項目数 $\geq 3$ ) 体温 脈拍 呼吸数 または $\text{PaCO}_2$ 白血球数 幼若球の割合	_____ $^\circ\text{C}$ _____ 回/分 _____ 回/分 _____ mmHg _____ /mm <sup>3</sup> _____ %	陽性項目数が 2 以下に改善した年月日  年 月 日	
造影 CT Grade：炎症の腓外進展度と、腓の造影不良域のスコアの合計点で判定				
造影 CT Grade 2 以上を満たした時点でのデータを記入して下さい。 1. 炎症の腓外進展度（いずれかに○をつけて下さい。） 1. 前腎傍腔（0点） 2. 結腸間膜根部（1点） 3. 腎下極以遠（2点） 2. 腓の造影不良域（いずれかに○をつけて下さい。） 腓を便宜的に3つの区域（腓頭部、腓体部、腓尾部）に分け、 1. 各区域に限局している場合、または腓の周辺のみの場合（0点） 2. 2つの区域にかかる場合（1点） 3. 2つの区域全体をしめる、または、それ以上の場合（2点）  ・合計1点以下 : Grade 1 ・合計2点 : Grade 2 ・合計3点以上 : Grade 3 (造影 CT Grade 2 以上のものを重症とする)			造影 CT Grade 2 以上 となった年月日	造影 CT Grade 1 となっ た年月日
医療上の問題点			年 月 日	年 月 日
医療機関名				
医療機関所在地				
電話番号 ( )				
医師の氏名				
記載年月日： 年 月 日				

※ 次頁の認定基準を御確認ください。

事務処理欄（ここには記入しないでください。）

受給者番号								審査	入力
-------	--	--	--	--	--	--	--	----	----

## 【重症急性膵炎】

### 1 急性膵炎の診断基準

- ① 上腹部に急性腹痛発作と圧迫がある
- ② 血中または尿中に膵酵素の上昇がある
- ③ 超音波、CT または MRI で膵に急性膵炎に伴う異常所見がある

上記3項目中2項目以上を満たし、他の膵疾患および急性腹症を除外したものを急性膵炎とする。ただし、慢性膵炎の急性増悪は急性膵炎に含める。

注：膵酵素は膵特異性の高いもの（膵アミラーゼ、リパーゼなど）を測定することが望ましい

### 2 重症度判定基準

#### A. 予後因子

原則として発症後48時間以内に測定することとし、以下の各項目を各1点として合計したものを予後因子の点数とする。

1. Base excess  $\leq -3$  mEq/l、またはショック（収縮期血圧  $\leq 80$  mmHg）
2. PaO<sub>2</sub>  $\leq 60$  mmHg（room air）、または呼吸不全（人工呼吸器管理を必要とするもの）
3. BUN  $\geq 40$  mg/dl（もしくは Cr  $\geq 2$  mg/dl）、または乏尿（輸液後も1日尿量が400ml以下であるもの）
4. LDH が基準値上昇の2倍以上
5. 血小板数  $\leq 10$  万/mm<sup>3</sup>
6. 総Ca値  $\geq 7.5$  mg/dl
7. CRP  $\geq 15$  mg/dl
8. SIRS 診断基準における陽性項目数  $\geq 3$

SIRS 診断基準項目：

- (1) 体温  $> 38^{\circ}\text{C}$  または  $< 36^{\circ}\text{C}$
- (2) 脈拍  $> 90$  回/分
- (3) 呼吸数  $> 20$  回/分または PaCO<sub>2</sub>  $< 32$  mmHg
- (4) 白血球数  $> 12,000/\text{mm}^3$  もしくは  $< 4,000/\text{mm}^3$ 、または10%超の幼稚球の出現

9. 年齢  $\geq 70$  歳

#### B. 造影 CT Grade

原則として発症後48時間以内に判定することとし、炎症の膵外進展度と、膵の造影不良域のスコアが、合計1点以下を Grade 1、2点を Grade 2、3点以上を Grade 3 とする。

##### ① 炎症の膵外進展度

前腎傍腔：0点

結腸間膜根部：1点

腎下極以遠：2点

##### ② 膵の造影不良域

膵を便宜的に3つの区域（膵頭部、膵体部、膵尾部）に分け、

- ・各区域に局限している場合、または膵の周辺のみの場合：0点
- ・2つの区域にかかる場合：1点
- ・2つの区域全体をしめる、またはそれ以上の場合：2点

#### C. 予後因子が3点以上または造影 CT Grade 2 以上のものを重症とする

[特定疾患治療研究事業の対象範囲]

急性膵炎のうち、重症の者を特定疾患治療研究事業の対象とする。